

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】 第 3 部門第 2 区分  
 【発行日】 平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】 特表 2005-500368 (P2005-500368A)  
 【公表日】 平成 17 年 1 月 6 日 (2005.1.6)  
 【年通号数】 公開・登録公報 2005-001  
 【出願番号】 特願 2003-518529 (P2003-518529)  
 【国際特許分類】

**A 6 1 K 31/428 (2006.01)**  
**A 6 1 K 45/00 (2006.01)**  
**A 6 1 P 25/00 (2006.01)**  
**A 6 1 P 25/28 (2006.01)**  
**A 6 1 P 43/00 (2006.01)**  
**C 0 7 D 277/82 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 K 31/428  
 A 6 1 K 45/00  
 A 6 1 P 25/00  
 A 6 1 P 25/28  
 A 6 1 P 43/00 1 2 1  
 C 0 7 D 277/82

【手続補正書】  
 【提出日】 平成 17 年 8 月 1 日 (2005.8.1)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】 特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】 全文  
 【補正方法】 変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

場合により薬理学的に許容可能な酸付加塩、水和物又は溶媒和物の形態にあってもよい 2-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロ-6-n-プロピルアミノ-ベンゾチアゾールの、ADHD の予防及び／又は治療用医薬組成物を製造するための使用。

【請求項 2】

2-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロ-6-n-プロピルアミノ-ベンゾチアゾールがその (+) 又は (-) エナンチオマーの形態で使用される請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

注意欠陥の予防及び／又は治療のための請求項 1 又は 2 に記載の使用。

【請求項 4】

活動過多疾患の予防及び／又は治療のための請求項 1 又は 2 に記載の使用。

【請求項 5】

注意欠陥が伴う活動過多疾患の予防及び／又は治療のための請求項 1 又は 2 に記載の使用。

【請求項 6】

2-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロ-6-n-プロピルアミノ-ベンゾチアゾールが 1 種又は 2 種以上の他の医薬として活性な物質と組み合わせて使用される請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 7】

活性物質が、 $\alpha$ -交感神経興奮剤及び抗鬱剤から選ばれる請求項6に記載の使用。

【請求項8】

2-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロ-6-n-プロピルアミノ-ベンゾチアゾールが、メチルフェニデート、アンフェタミン、アンフェタミニル、メタンフェタミン、ペモリン、トモキセチン、デシプラミン、イミプラミン、ビュープロピオン及びモダフィニルからなる群より選ばれる1種又は2種以上の活性物質と共に使用される請求項6又は7に記載の使用。

【請求項9】

2-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロ-6-n-プロピルアミノ-ベンゾチアゾールが、塩酸塩、臭化水素酸塩、硫酸塩、リン酸塩、メタンスルホン酸塩、酢酸塩、フマル酸塩、コハク酸塩、乳酸塩、クエン酸塩、酒石酸塩及びマレイン酸塩からなる群より選ばれる薬理学的に許容可能な酸付加塩の形態で使用される請求項1～8のいずれか1項に記載の使用。

【請求項10】

2-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロ-6-n-プロピルアミノ-ベンゾチアゾールが、1日当たり約0.05～7.5 mgの投与量で使用される請求項1～9のいずれか1項に記載の使用。